

MEET★とんだばやし

～認知症になっても笑顔で暮らせる富田林～

認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちをめざして

○認知症サポーター養成講座

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らすためには、地域の人の理解が大切です。認知症サポーターは、認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職場などで、認知症の人や家族を見守る応援者です。本市には、認知症サポーター養成講座を受けた人が約1万人います。

認知症サポーター養成講座は、市役所での開催だけではなく、依頼を受けて地域の集会所などで出張開催もしています。しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により養成講座をほとんど開催できていません。そこで、感染予防対策として、養成講座をオンラインで開催します。詳しくは、市広報誌または市ウェブサイトでお知らせしますので、ぜひご参加ください。



○認知症サポーターになったら…

何か特別なことをするわけではありません。しかし、地域で暮らす認知症サポーターだからできることがあります。毎朝おはようと笑顔で声をかけること、ごみ出しの時に手伝うことなど、普段から声をかけるようにしていると、「最近、様子が違う」と気付くことができたり、認知症の人や家族が不安になった時に相談できる存在になったりします。認知症サポーターが一人でも多く地域にいてくれることで、大きな見守りの輪となり、本市が目指す「MEET（みんな笑顔と笑顔で手をつなごう）とんだばやし」へとつながります。

○認知症サポーター座談会

認知症サポーター養成講座を受けたことのある人が集まって、自分にはどんなことができるかを自由に意見交換する座談会を開催しています。認知症サポーター同士の交流の機会にもなっており、困りごとやそれに対する工夫などを出し合っています。

「認知症サポーターになったけど、自分に何ができるか分からない」「地域でもっと積極的に活動したい」「近所の認知症サポーターと知り合いたい」などと感じている人は、市広報誌または市ウェブサイトでお知らせしますので、ぜひ座談会にご参加ください。

高齡介護課（内線 183）

げんきっ！NPO

NPOとは営利を目的とせず社会活動をする組織です



◇市民公益活動とは

「市民が自発的かつ自主的に行う活動」と「不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする活動（社会貢献活動）」のことをいいます。営利を目的とするものや特定の個人、団体の私益を目的とするもの、政治宗教活動を目的とするものなどは含みません。市内の市民公益活動団体は、福祉・教育・まちづくり・スポーツなどの幅広い分野で活動しています。

◇コロナ禍におけるNPO活動

昨年から流行している新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの団体が以前と同じように活動することが難しくなっています。多人数で集まるということが難しい現在の状況ですが、スマホ用アプリやパソコンを使ってのウェブ上での催しや会議の開催など、感染の発生しやすい密集状態を作らないように工夫をして活動している団体もあります。

また、人が集まらざるを得ない場合にも、マスクの

着用や換気の徹底、ソーシャルディスタンスの確保など、感染対策を徹底して活動を行っています。

◇今年度のわくわく広場INとんだばやし（ひろとん）について

新型コロナウイルス感染症への対策として、今年度のひろとんは例年とは異なり、ステージ発表を行わず、エコールロゼ・市役所ロビー・トピック（きらめき創造館）・きらめきファクトリーの4カ所でパネル展示をします。また、市民公益活動支援センターウェブサイト [https://peraichi.com/landing_pages/view/hiroton16] でもご覧いただけます（右図のQRコードからもアクセスできます）。



◇市民公益活動支援センターへの団体登録のすすめ

登録団体になると、ワイヤレスアンプマイクや液晶プロジェクターなどの貸し出し備品を使用できたり、市内のネットワークステーションと公的連携施設を利用できたりするなど、市民公益活動のために必要なサービスを受けることができます。「人と人を、人と団体を、団体と団体を繋げるマッチング」も実施しており、NPO法人だけでなく福祉委員会やすこやかネット、PTA、町会（自治会）なども団体登録していただけますので、ぜひご登録ください。

人権・市民協働課（内線 469）

パイプ加工で夢をカタチに ~TO SHAPE A DREAM~



株式会社小寺製作所

皆さん、金属パイプというものは意外といろいろな所で使われているのをお気づきでしょうか。見えない所でも、液体や冷媒を通すためにパイプが大活躍しています。

小寺製作所はそのような外径が10mm程度の細く薄い、ステンレス・アルミ・銅やチタンといった金属製のパイプを、3次元曲げ加工、コイル巻き加工、プレス加工といった技術を用いてオーダーメイドしています。



コイル巻き加工

◆特殊加工で挑戦する事が強みです

一品一様なだけに簡単ではありませんが、どのように加工するか、どのようにお届けするかと社員同士でやりとりし、絶対完成させるぞ！と取り組んでいます。

◆身の回り品から地球環境分野まで

加工品は主に熱交換器という機械の重要部品として使われます。皆さんにとって身近なところでは、冷た

●会社概要

所在地 中野町東二丁目4の39
代表者 代表取締役 植村 公宣
従業員 80人
創立 昭和42年8月



い水をお湯にする給湯器や、冷えた水を出すドリンクサーバー、コンビニエンスストアで見かけるコーヒーマシンなどがあります。

他に腎臓の患者向けの透析器に内蔵されている例や、環境に配慮した高効率なパイプの需要にお応えしていることもあり、最近では生命医療や地球環境の分野にも関わっています。

◆日本全国からご注文を頂きます

ご注文は一本から短納期対応し、月間では全国約100社の顧客から約500種類、合計約50万本を生産し、創業の地であるここ富田林市から全国へ日々出荷しています。

小寺製作所はこれからも自分自身の成長を目指し、お客様からの「おかげさま」を頂きますように社員一同一丸となって仕事に取り組みます。

商工観光課（内線481）



加工作業の様子

みんなで乗って守り育てよう



地域公共交通

「富田林市公共交通事業者応援」を実施しています

本市では、新型コロナウイルス感染症による影響で、利用者が激減している路線バスやタクシーの公共交通機関について、その利用を促進することを目的として、令和2年11月から「富田林市公共交通事業者応援」を実施しています。

路線バスは、市内の路線バスを月～金曜日の午前10時～午後4時および土・日曜日、祝日の終日に乗車した場合に、運賃が100円（小児50円）に割引されます。

タクシーは、75歳以上の人および妊娠されている人を対象者として、タクシー運賃が割引となる利用券（初乗り運賃680円分を4枚）を配付しています。

実施してからは利用者が増加しており、市民の皆さんからも「気軽に利用しやすくなって便利」「バスやタクシーでのお出かけも楽しい」といった声をいただいています。

●公共交通機関の現在の状況について

鉄道や路線バス、タクシーといった公共交通機関は、新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者が激減しています。このような状況の中、緊急事態宣言の期間中も休業要請の対象外だったことや、車内の「3密」を回避するために大幅な減便などを行わないなど、通勤・通学をはじめとした私たちの「くらしの足」を確保するため、公共交通事業者に大きな負担が掛かっています。現在も、各企業によるテレワークの推進や、夜間の飲食などの自粛などにより、コロナ禍以前の利用者数の回復には程遠く、今後も公共交通事業者にとって厳しい状況が続くと考えられます。

●「富田林市公共交通事業者応援」は2月28日(日)まで

「金剛バス利用券」（金剛バス販売窓口にて販売中）および「タクシー利用券」（対象者に配布）の利用期間は2月28日(日)までです。まだ利用していない人はご利用ください。

公共交通機関は車両の消毒などの新型コロナウイルス感染防止対策を実施しています。また、公共交通機関の利用時はマスクの着用、会話を控えるなどの対策にご協力をお願いします。本市を運行する公共交通機関をみんなで、応援しましょう。

道路交通課（内線416）